



近畿大学附属小学校同窓生の皆様、こんにちは。

昨年からの新型コロナウイルス(COVID-19)感染が続いています。同窓生の皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たちの生活を大きく変えてしまったコロナウイルスですが、小学校でも大きく変えなければいけないことがたくさんありました。昨年から現在までの学校生活について、ご紹介いたします。

## ①休校期間中の動画配信

昨年3月から行われた全国一斉の休校期間。近小も授業の中止を余儀なくされました。しかし、近小ではこの2年前から、5年生と6年生が、個人でiPadを購入して授業で活用していたこともあり、教員自身がiPadで授業動画を作成し、授業支援プラットフォームを介して各家庭と直接やりとりすることで、子供たちの学びを止めずに3ヶ月を乗り切ることができました。

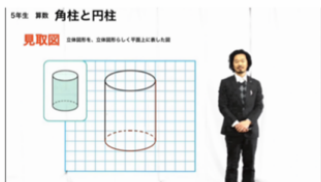


各家庭から朝の会に参加

新年度が始まると、教員はみんな、子供たちのいない教室で、できるだけわかりやすくなるように工夫しながら動画をつくったり、web会議ツールを活用して朝礼を行ったりで大忙しでした。

1年生にとっては、延期になった入学式の前に、初めての小学校での先生や友達と、画面越しにでも会えたのは、とてもよかったようです。

教員も工夫した動画を配信し続けました。



授業再開後すぐは、クラスの半数が登校し、半数は在宅学習。右の写真のように、一つずつ空けた席に座った子供たちと、家庭から参加する子供たちが、いっしょに授業を受けることもありました。

## ②1クラスずつの「入学を祝う集い」

昨年の入学式(67期生)は、「入学を祝う集い」として6月に行われました。6月ということも異例ですが、緊急事態宣言下ということで、会場の人数制限を行わねばならず、1クラスずつの集いとなりました。在校生が不在のさびしい式になってしまいそうなところでしたが、1クラスずつだからこそできることを!ということで、新入生が舞台上がって、全員の顔をお披露目するような集いにすることができました。まさにこの日は1年生ひとりひとりが主役になりました。



### ③学舎・学習旅行の中止

本校創立当初から大切にしている榑崎浅太郎先生の教えの一つである『本物から学ぶ』この実践である学舎・学習旅行は、中止を余儀なくされてきました。首都を訪れる東京学習旅行や、伝統の遠泳行事をふくむ白浜学舎も2年連続で中止となり、とても残念に思っています。

ただ、今年3月に卒業した6年生(62期生)については、修学旅行を何とか実施しよう、ということで、卒業直前の2月末に、近小としては初めての沖縄県へ行きました。感染対策を徹底しての最後の宿泊行事で、6年生たちは楽しい思い出をまた一つ増やして卒業していきました。

もうすぐ始まる2学期は、昨年行くはずだった学舎・学習旅行を実施する予定です。感染が早く収まることを祈っています。



### ④運動集会

昨年は、全学年、走競技と団体競技1つだけを行う「運動集会」を行いました。6年生だけは団体演技を発表し、保護者にも見てもらいました。例年通りの盛り上がりの運動集会。今年はまた新しい形での運動会を実施予定です！



### 第41期生 上山友裕選手 パラリンピック アーチェリー出場

8月24日(火)に開幕する「東京2020パラリンピック」に、近畿大学附属小学校第41期卒業生の上山友裕選手が出場されます。リオ大会に続いて、パラリンピックは2度目の出場。今回もメダルの有力候補です。応援、よろしくお願いします！



**8月27日(金)**  
男子個人リカーブオープン  
ランキングラウンド

**9月 3日(金)**  
男子個人リカーブオープン  
1回戦、2回戦、決勝

